

第1回旭川市住生活基本計画検討懇談会 意見一覧

令和4年5月26日に開催した第1回旭川市住生活基本計画検討懇談会における意見及び本市の考え方の一覧です。

分野	質疑・意見	本市の考え方
全般	現計画においては様々な取組が記載されているが、抽象的な部分も多くあり、改定に向けてどのように作業を行っていかかが難しい部分もあるかと思う。	骨子や素案を提示する中で、まずは事務局としての考えを示していきます。その後、本懇談会や庁内検討委員会の意見も取り入れながらより良い改定計画としたいと考えています。
成果指標	改定計画の成果指標は改めて検討することでよいか。	良い。
	目標値と現況値の乖離が大きいものは、現計画の達成や改定計画の目標設定の際に難しい部分がある。	我々も課題と捉えています。今回改定に際しては、目標値の下方修正もあり得ると考えています。
	災害や犯罪などに対し不安を感じている市民の割合について、不安の内容、対策はどのようなものか。	市民アンケートの結果に基づく指標であり、回答者が個別にどのような不安を持っているかは明確ではありません。対応する具体的な取組は、耐震改修の促進、訓練・講習等を通じた防災知識の普及・啓発や、自主防災組織の育成等による地域防災力の向上があります。
見直し時期	今回見直しは現計画期間の中間であるが、これはあらかじめ見直しの時期を決めていたものか。	現計画では時期を定めず、社会情勢の変化等により、必要に応じて見直すことになっています。本市には様々な部局で計画を持っており、計画期間の中間期等に計画を見直すという考えもあります。今回の改修は、国や北海道の住生活基本計画が改定されたことや、新たな課題も生じたことから、見直しを行うこととしたものであります。
見直しの視点	見直しの視点があり過ぎる。本当に年度内の改定に間に合うか。項目を絞らないと、年度内に結論を出して実のある改定計画を作成できない可能性がある。	見直しの視点については、どの項目も今後の計画改定に向けて必要なものと考えていることから、更に整理・検討を行うなどして、年度内の計画改定に努めていきます。
	ボリュームがあり、スケジュール的に事務局が結構大変ではないかと思う。	
	どれも大事で、難しいテーマ。この数年間においても社会情勢は動いており、コミュニティ関係や高齢者の増加等がある。	
	全て大事なことだが、ハードだけではなく、ソフト面からも、快適に暮らしていくことを考える必要がある。	
分譲マンション管理	特に管理組合が組織されていない分譲マンションへの対応を検討しなければいけない。	マンション管理適正化推進計画については、国で示している内容も参酌しながら、本市としての在り方をしっかり決めていきたいと考えています。また、国が地方公共団体向けに作成した計画作成の手引きにも示されているとおり、今回改定する住生活基本計画と一体的に検討し、当該計画の一部をマンション管理適正化推進計画として位置づけていきたいと考えています。
	分譲マンションの6割から7割は管理組合法人又は管理組合がない。自主管理すらなっていない分譲マンションが多い現状がある。	
	管理組合等がない分譲マンションは劣化等に対する手立てを講ずることができない状況であり、手を差し伸べる必要がある。	

空き家、移住	<p>空き家対策や住宅ストックの流通促進だけではなく、外から来る人をどう引きつけるのかというような、旭川の魅力を徹底的に見せていく住宅政策、モデルがあってもいい。</p> <p>町内の空き家に学生さんを無料で住まわせて、例えばパソコンを使えない年寄りしかいないような町内でパソコンを使って町内会活動等に協力するだとか、あるいは除雪に少し協力して、その代わりに、住まいの提供を受けたり等と、いろいろなことを考えながら、ハードだけではなくソフトの面も考えて、計画見直しを図りたい。</p>	<p>移住促進についても、旭川市の地域性等も考慮しながら本改定計画に加味していきたい。また、様々な施策については本市の所管部局で実施しているところであり、空き家、移住に限らず具体的な事業は各部局に委ねていくことになります。</p>
空き家	<p>中心部であれば解体を行えば土地が売れることがあるが、郊外では土地を売却しても解体費を賄いきれないため、空き家になっている期間が長くなる。</p>	<p>計画改定に向けた参考にします。</p>
移住	<p>移住体験住宅は、空室があるはずの公営住宅とは連携がとれていないため、受入れ体制が十分ではない。</p>	<p>公営住宅ストックの有効活用を図るため、他の自治体において移住施策と連携した取組事例があるものと認識しております。</p> <p>一方、このような取組は、本来の入居対象者の入居を阻害しないよう適切な措置を講じた上で実施する必要があること、さらには、暖房等の生活に必要な設備の整備、既存公営住宅の入居率などの種々の課題を整理していく必要がありますことから、関係部局間で連携をしながら、検討を行ってまいりたいと考えております。</p>
福祉	<p>コロナの影響や社会情勢の変化を受け、支援を必要とする方々の困り度合いは更に増している。実際の生活や必要とする支援の内容に関わる具体的な介護サービスだけではなく、家の維持や住まいの確保についての課題が実際に相談として寄せられている。</p> <p>住宅だけではなく、福祉も関係が深いと感じている。</p>	<p>計画改定に向けた参考にします。</p> <p>福祉分野からの意見も取り入れながら、改定計画を策定します。</p>
まちづくり	<p>分譲マンションが今3000万程度で売られているが、旭川は土地が安いので郊外の一戸建ての方が取得しやすい。30分もあれば永山から中心部に移動できることを考えると、地価が安いという旭川の特長を活かしたまちづくりができればいい。</p>	<p>計画改定に向けた参考にします。</p>
コミュニティ	<p>高齢者が増えている中で、町内会等の小さな単位でのコミュニティが崩壊しつつある状況が見られる。</p>	<p>計画改定に向けた参考にします。</p>